



2023年12月12日

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
TC協会会員各位

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
代表理事 山崎 敏正

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会
会員登録のお願い

日頃、当協会の活動にさまざまなご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
2018年に会員限定のWGとしてスタートした本活動は、外部からの有識者招へいを意図して2019年から非会員も参加可能な実務技術研究会に定款上の組織区分を切り替えて活動を継続しています。ネット公開を中心とする製品・サポート情報で実務運用するため、解析および評価技術を可及的速やかに実用水準に近づけるべく企業の枠を超えた協同活動に取り組んでいます。活動成果の一端はシンポジウム2019～2023でも公開してきました。
2024年は、解析を実務適用する際の企画設計レイヤーを扱う活動と、Webサイトで解析を実行する際の実装レイヤーを扱う活動の双方を交互に実施します。前者では、行動経済学の知見と研究結果の取り込みを推進します。デジタル化推進を要請する国内外の法令規格要求に対応した方法論の研鑽には引き続き取り組みます。後者では、研究会メンバーが直面する実装面の課題解決に必要な手法を、事例から学ぶ取り組みを続けます。活動は基本的に非公開で行いますが、その一部はシンポジウムで総括として公開します。
つきましては、下記要領にて皆様から製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員を募集いたします。ご多忙中、恐縮ではございますが、主旨をご理解の上、ご参加をお願い申し上げます。 敬具

記

■登録いただく実務技術研究会員

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会。解析技術に長じた方に限り非会員の参加を認めています。

■実務技術研究会員の任期

2024年1月～2024年12月

■実務技術研究会員の役割

情報利用者が主に接する情報媒体と情報形態が変化した今日、情報をつかってもらって提供価値の質的向上、利用者本位の体験価値の追求には、情報利用者がどのように情報にアクセスしたのか示すデータの活用に関する知見が欠かせません。情報の3循環「つくる・つたえる・つかう」において、PDCAサイクルおよびOODAループを実現する要になるのが解析技術と評価技術です。本実務技術研究会では、Web業界およびマーケティング業界で普及している解析技術をTC分野に応用し評価する取り組みについて議論します。特に、所属企業が知財に関する権利を保有する解析対象データを取り扱う担当者の参加を求めています。

■実務技術研究会の開催頻度

定例会議は隔月開催で年6回程度です。研究会に閉じた討論を基本としつつ、シンポジウムにおける公開討論も行います。この他に一部有志による追加活動も予定します。開催はすべてオンラインで行います。

■概略日程

2月 第1回非公開討論
4月 第2回非公開討論
6月 第3回非公開討論
8月 CDシンポジウム2024 第1回公開討論
10月 第4回非公開討論、
11月 シンポジウム2024 総括イベント 第2回公開討論
中間にメンバーを絞った追加活動もあります。

■申し込み締切日

別紙の登録用紙に必要事項を記入し、2024年1月12日(金)までにFAX(03-3368-5087)またはメール添付(tc-info@list.jtca.org)にてTC協会事務局までご連絡ください。

以上

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-34-2
第一後藤ビル 101号室
Tel:03-3368-4607 Fax:03-3368-5087
<https://jtca.org>



202 年 月 日

TC 協会事務局 行(FAX:03-3368-5087)
またはメール(tc-info@list.jtca.org)にてご連絡ください。

製品・サポート情報における解析取り組み 実務技術研究会員登録用紙

製品・サポート情報における解析取り組み実務技術研究会員として、次のメンバーを登録いたします。

TC 協会会員番号	非会員の方は記入不要です。
登録者氏名	
会社名	
部署名	
会社の住所または ご自宅の住所	〒
電話番号	
FAX番号	
E-Mail	